



コモンズ30 +しずぎんファンド

(月次報告書)



● 基準価額の推移



● ファンドのデータ

(2018年6月29日付)

基準価額	13,387円
純資産総額	544百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除されています(後述の「コモンズ30+しずぎんファンドの費用について」をご覧ください)。

※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.242%(消費税込)です。

● 分配実績(1万口あたり、税引前)

第1期 (2015年12月18日)	0円	第2期 (2016年12月19日)	0円	第3期 (2017年12月18日)	0円
----------------------	----	----------------------	----	----------------------	----

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。

● 基準価額(税引前分配金を再投資したものととして算出)の騰落率

(2018年6月29日付)

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
▲2.18%	0.91%	▲2.04%	12.34%	20.28%	33.87%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

● ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
コモンズ30ファンド (マザー)	91.9%	0.0%
静岡銀行株式	8.0%	0.5%
現金等・その他	0.0%	▲0.5%
構成銘柄	31社	0社

● 運用状況(コモンズ30マザーファンドについての記載となります)

◎6月のファンド月間リターンとその要因

6月のファンドの月間リターンは、2.18%の下落となりました。

銘柄別の月間リターン上位3銘柄は、「カカクコム(+5.61%)」、「ダイキン工業(+5.48%)」、「シスメックス(+5.40%)」となりました。カカクコムは、米中貿易摩擦などに影響されない内需成長株として注目されました。ダイキン工業は、2020年度までの経営計画を発表、その高い利益成長力がポジティブ視されました。シスメックスは、ヘマトロジー(血球計数)の検査装置および試薬で高いシェアを持っていますが、試薬の売り上げ拡大で安定的に利益成長できる銘柄として評価が高まりました。

下位3銘柄は、「堀場製作所(▲14.46%)」、「コマツ(▲11.68%)」、「信越化学工業(▲9.34%)」となりました。堀場製作所は、貿易摩擦問題による世界経済の変調や日本製品への関税引き上げの影響が懸念されました。コマツは、米中貿易摩擦問題が激しくなるなか、中国を含むアジアで強い地盤を持つことなどが不安視されました。信越化学工業は、ハイテク株を多く含む米ナスダック市場の下落が、半導体材料を利益成長ドライバーにしている同社株にとって悪材料となりました。

なお、ベビーファンドで直接投資している静岡銀行株式の月間騰落率は4.76%の下落でした。

シニア・アナリスト 上野 武昭

◎運用責任者メッセージ

6月の内外金融市場は、米朝首脳会談、欧米金融政策、米中貿易摩擦協議を確認しながらの不安定な相場展開となりました。特に、月末にかけては米中貿易摩擦懸念が高まり、株式市場は調整局面となりました。

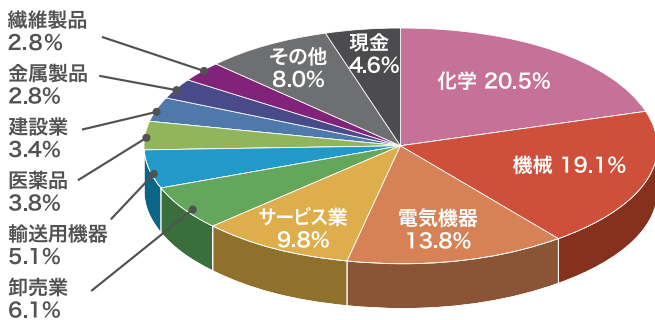
国内株式市場でも、米中貿易摩擦懸念からリスク回避傾向が強まり、外需銘柄中心に軟調となりました。業種別では、石油石炭、水産・農林業、医薬品、食料品が上昇する相場となりました。また、6月は3月決算企業の株主総会シーズンでしたが、株主提案の中にも有意義なものがみられたり、株主から環境などESGに対する要望が増えるなど、株主総会にも変化が見られるようになりました。

当ファンドは、グローバルに活躍する日本企業が中心になっているため、前述の相場展開ではやや苦戦する結果となっていますが、年初からの騰落率では引き続き、TOPIX(東証一部株価指数)や日経平均を上回る実績となっています。当面、不透明な相場展開を想定していますが、長期的な視点で外部環境の変化にも強い企業への投資を続けて参ります。引き続き、当ファンドにご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

● コモنز30マザーファンドの業種別構成比と未来コンセプト別構成比

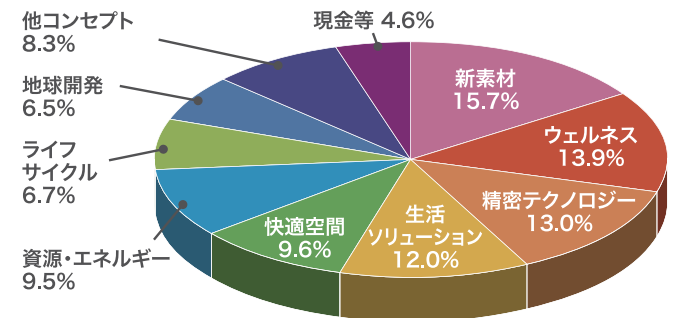
◎業種別構成比



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

◎未来コンセプト別構成比

(2018年6月29日付)



● 組入上位10銘柄(静岡銀行株式を除く)

(2018年6月29日付)

コード	銘柄名	未来コンセプト	概要	組入比率
4911	資生堂	ウェルネス	銀座も、アジアも、美しく	4.0%
4523	エーザイ	ウェルネス	患者家族まで心を配る徹底したステークホルダー経営	3.8%
6146	ディスコ	精密テクノロジー	kiru, kezuru, migaku, 世界を代表する精密加工装置メーカー	3.6%
6301	コマツ	地球開発	世界のインフラを作る日本のモノづくり力&IT力	3.6%
2371	カカクコム	生活ソリューション	インターネットユーザーに「便利」を届け続ける	3.6%
6856	堀場製作所	精密テクノロジー	「おもしろおかしく」、時代に合わせて領域を拡大	3.6%
8035	東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社	3.6%
8113	ユニ・チャーム	ライフサイクル	世界企業と切磋琢磨し、空白地帯で成長	3.6%
4063	信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性	3.5%
6869	シスメックス	ウェルネス	起源は音響機器、今は血球計数分野で世界No.1、成長するグローバルニッチのリーダー	3.5%

◎未来コンセプトとは 当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。
 「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」

● 新規組入投資先

なし

● 今月のピックアップ!

6月はダイキン工業の株価が5.48%上昇しました。2019年3月期第1四半期の決算発表を控え、外部環境に左右されずに業績拡大が見込める企業として注目されました。同社は2018年3月期まで5期連続で最高業績(売上高・営業利益)を更新していますが、一段の高みを狙う戦略経営計画「FUSION20」(2018~2020年度の3カ年分)を発表しました。2021年3月期に売上高2.9兆円(2018年3月期比較で27%増)、営業利益3480億円(同37%増)を目指すものです。北米市場の深耕、アジア市場の成長、保守サービスまで含めたソリューション事業の拡大などが牽引します。環境意識が高まるなか、オゾン層保護や温暖化抑制のために、先進国では2020年、新興国では2030年までに、空調機器において地球温暖化係数(※)の低い新冷媒に切り替えていかなければいけません。同社は空調機器と冷媒の両方を開発・生産する世界的なメーカーです。環境規制強化の流れは、優位性を発揮するチャンスになると思われます。(※)二酸化炭素、メタン、亜酸化窒素などの各種の温室効果ガス毎に定められる、温室効果の程度を示す値。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

● ちょっといい話

【2018年も後半へ!】

梅雨も明け、2018年も後半戦に入りました。今年前半の株式市場は?というところ、日経平均株価で見ると大発会に741円の大幅高でのスタートとなり、1月23日には24,124円の高値まで駆け上がりました。その後、米国の金利上昇などから下落局面に入り、3月下旬に20,600円台まで約15%の下落となりました。4月以降は、概ね22,000円から23,000円の間を行き交う相場展開でした。今年前半のキーワードは、①適温相場の終焉、②米国の金利上昇、③ドル高、④米中貿易摩擦でした。

2018年は、「つみたてNISA」がスタートした年でもありました。6000種類を超える投資信託の中から、金融庁が示したテーマ型や毎月分配型でない長期的な資産形成に適した商品として、わずか120本ほどが選ばれました(98%の投資信託は不適合になったわけです)。その中に、当ファンドの約9割を占める「コモンズ30ファンド」が選ばれました。さて、その「つみたてNISA」に選ばれた投資信託が1月の制度スタートから5月末まで、どのようなパフォーマンスだったのかを日本経済新聞が調査をしました。この間、日経平均株価もTOPIX(東証一部株価指数)も2%強のマイナス、「コモンズ30ファンド」は0.98%のプラスで、全てのつみたてNISA対象ファンドの中で第4位、国内株式型では第1位となりました。相場が適温相場で順調に値上がりしているときには、多くの銘柄が上がっていくので運用力の差は分かり難いものです。一方で、今年前半のように乱高下するときこそ、運用力の差が現れます。年初からの半年程度ではありますが、ファンドの特徴が発揮できたと考えています。

当ファンドは、投資信託の評価をしているモーニングスター株式会社から総合評価で最高評価の5つ星(※)を維持しています(2018年5月末現在)。当面の株式市場は、米中の貿易摩擦懸念の広がりや日米通商協議の進展などの政治的リスクを注視しながら戻りを試す局面と考えています。引き続き、当ファンドにご期待ください。

※過去一定期間における実績を示したものであり、将来の運用成果を予想、あるいは保証するものではありません。



コモンズ投信株式会社
代表取締役社長 伊井 哲朗

● コモンズ30+しずぎんファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。お客さま(受益者)には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

価格変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があります。この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
為替変動リスクおよび カントリーリスク	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。

● その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかさった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。

● 販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○	
静岡ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商)第10号	○			

● コモンズ30+しずぎんファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%(消費税込)が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

● お申込みメモ

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託設定日	2014年12月29日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

○当資料は金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。○投資信託は設定・運用を投資信託会社が行う商品です。

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご確認くださいのうえ、ご自身の判断でお申込下さい。

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第2061号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

委託会社お問い合わせ先

■ コールセンター (受付時間/平日 9時~17時)

03-3221-8730

■ ウェブサイト

<https://www.common30.jp/>